

資料3 食と環境を考える

食品を外国から輸入した場合のCO₂の排出量

食品名	重量	生産地	距離 [km]	輸送手段	CO ₂ の排出量
パン1斤 (小麦粉)	250g (0.00025t)	アメリカ(モンタナ州) から東京	約1,400 km	トラック	約150g
			約8,900 km	船舶	

*排出係数は、前出課題3-2 51ページ(輸送手段別)参照

《パン1斤の場合》

- アメリカ・モンタナ州からロサンジェルスまで

$$0.00025 [t] \times 1,400 [km] = 0.35 [t \cdot km]$$

$$0.35 [t \cdot km] \times 170 [g/t \cdot km] = 59.5 [g]$$

- ロサンジェルスから東京まで

$$0.00025 [t] \times 8,900 [km] = 2.225 [t \cdot km]$$

$$2.225 [t \cdot km] \times 40 [g/t \cdot km] = 90 [g]$$

☆ 総CO₂排出量は、60+90=150 [g] となる。

約1,400km トラック輸送

約8,900km 船舶

生活の中の行動とCO₂の排出量

行 動	1家庭で削減できるCO ₂ の排出量
冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する	1日約90 g削減
不要な照明は消し、テレビはつけっぱなしにしない	1日約52 g削減
お風呂のお湯が温かいうちに家族が続けて入る	1日約221 g削減
シャワーの使用時間を1日1分短縮する	1日約139 g削減

※「千葉県地球温暖化防止計画」(平成18年6月)より

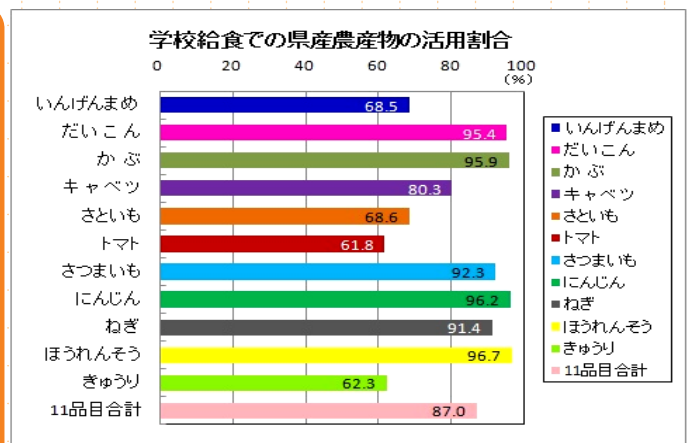
学校給食での千産千消

フードマイレージの学習から、千産千消をすすめることが、輸送面において環境への負荷を少なくするという事に気づいたことでしょう。

千葉県の学校給食では、千産千消に取り組んでおり、積極的に県内農水産物を利用してあります。

右のグラフは、県内で多くとれる野菜を学校給食に使用している割合を表したものです。

わたしたちも千産千消を意識した食生活を実践してみましょう。県では、毎年千葉県の農産物で、全国上位の野菜について、学校給食での活用割合を調べており、この数値は、県内の給食を実施しているすべての学校を対象に調査した結果です。(重量ベースによる)



(千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課平成22年度調べ)